

## 中学部 研究授業

12月6日(水曜日) 浜松特別支援学校教諭 大澤和俊先生を助言者にお迎えして御指導いただきました。

<研修テーマ> 働く喜びを感じる授業づくり

～できたことを実感するフィードバックの工夫～

<研究授業> 作業学習「学校のために良品を作って届よう①

～トイレットペーパーホルダーを作ろう～(縫工班)

縫工班では、「〇〇のために」を合言葉に、製品づくりに取り組んでいます。今回は校長先生からの依頼を受け、職員・来校者用のトイレで使用するトイレットペーパーホルダーを製作しています。1学期に引き続き、生徒が「働く喜びを感じている姿」を目指して作業学習を行いました。



生徒だけではなく、職員や来校した方にも製品を使ってもらうため、各工程で「良品」のポイントを設定しました。自分でポイントや手順を確認しながら、慎重に布を縫い進めます。縫い目が曲がっていることに気付くと、自分から「もう一度やります。」と教師に伝える等、良品を意識した意欲的な姿が見られました。

助言者の大澤先生から、生徒が本気でやりたいと思い、主体的に取り組むために必要なことを御助言いただきました。

今回は他学部の教員も研究会に参加し、より視野を広げた実りのある話し合いを行うことができました。研究会で学んだことを活かし、より良い授業づくりを目指します。

